

# 地域福祉計画 関係事業の進捗管理に係る報告事項について

令和5年度の取り組みについて自己評価を活動指標の達成率に応じてA~Dで評価。  
 A: 目標を達成できた(80%以上)  
 B: 目標を達成できない部分があった(60%以上~80%未満)  
 C: 目標の半分程度しか達成できなかった(40%以上~60%未満)  
 D: 目標を著しく下回った(40%未満)

議題	基本目標	取組内容	事業名 (担当部署)	事業区分	事業概要			事業内容			活動指標					活動実績			A~D		
					実施時期	実施主体	対象者	どのような方法で	何を	どうする	項目	単位	R3見込	R4目標	R5目標	R6目標	R7目標	R4 (実績)		R5 (実績)	R6 (目標値)
ア	2 互いに支え合う地域づくり	1 住民が参加しやすい地域活動の推進	健康教育事業 (保健福祉課 保健センター)	県補助	通年	田川市 保健センター	40歳以上の 市民	生活習慣病予防のため、健診受診後に運動習慣 確立のための運動教室と、食生活改善のための 栄養教室を実施する	運動教室参加 延べ人数	人	400	500	500	500	500	1,065	1,163	1,200	A		
							栄養教室参加 延べ人数		人	15	15	15	15	15	16	27	30	A			
			令和5年度取組の自己評価・分析			感染症流行時に減少した参加者が戻り、参加者が多い教室では、抽選が必要なものもある。 若年層の参加が少ない状況にある。 リピーターが多くなってきている。															
			今後の事業の方向性、課題等			初回参加者を優先に、運動習慣や食生活改善のきっかけ作りとして開催しているが、定着化へ向けては難しい現状がある。 また、若年者が興味を持てる教室企画など検討していく必要がある。															
選定理由			<内容> 生活習慣病予防のため、運動教室及び栄養教室を実施 <評価> 活動指標を上回る参加者があったことからA評価 <担当課の課題認識> A評価にもかかわらず、分析を行い、課題認識が明確であることから、意見又は助言を得る必要があると考えるため。																		

議題	基本目標	取組内容	事業名 (担当部署)	事業区分	事業概要			事業内容			活動指標					活動実績			A~D		
					実施時期	実施主体	対象者	どのような方法で	何を	どうする	項目	単位	R3見込	R4目標	R5目標	R6目標	R7目標	R4 (実績)		R5 (実績)	R6 (目標値)
イ	2 互いに支え合う地域づくり	2 住み慣れた地域での生活を支える取組の推進	地域包括支援 センター運営事業 (高齢障がい課 高齢介護係)	その他(介護保 険地域支援事 業交付金)	通年	田川市 高齢障がい課 (委託先) 田川市社会福 祉協議会(一 部)	65歳以上の 市民	医療、介護などの多職種や地域住民の代表によ り地域のネットワークの構築や地域課題の抽 出、対策等を行い ①保健・医療・福祉に関する相談・支援等につ いて、包括的かつ継続的に対応する ②地域包括ケアシステムの構築に取り組む	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
			令和5年度取組の自己評価・分析			保健・医療・福祉に関する相談・支援等について、専門職が包括的かつ継続的に対応できている。 また、関係機関と連携を図り地域包括ケアシステムの構築も取組むことができている。															
			今後の事業の方向性、課題等			事業は継続実施。近年、高齢者単独世帯や高齢者のみ世帯の増加により相談件数の増加や問題の深刻化がみられる。															
			選定理由			<内容> 保健・医療・介護に関する相談支援及び地域包括ケアシステムの構築 <活動指標・実績> なし <自己評価及び課題> B評価に至った経緯と深刻化している今後の課題について詳細に説明したうえで、意見又は助言を得る必要があると考えるため。															

# 地域福祉計画 関係事業の進捗管理に係る報告事項について

令和5年度の取り組みについて自己評価を活動指標の達成率に応じてA～Dで評価。  
 A：目標を達成できた（80%以上）  
 B：目標を達成できない部分があった（60%以上～80%未満）  
 C：目標の半分程度しか達成できなかった（40%以上～60%未満）  
 D：目標を著しく下回った（40%未満）

議題	基本目標	取組内容	事業名 (担当部署)	事業区分	事業概要			事業内容			活動指標					活動実績			A～D	
					実施時期	実施主体	対象者	どのような方法で	何を	どうする	項目	単位	R3見込	R4目標	R5目標	R6目標	R7目標	R4 (実績)		R5 (実績)
ウ	3 互いに支え合う体制づくり	1 相談できる体制の整備	地域子育て支援事業 (子育て支援課 こども未来係)	国・県補助	通年	田川市 子育て支援課 (子育て支援 センター)	乳幼児、0～ 18歳の児童 及び保護者	電話、来所(面接)で子育て中の保護者及び子 育て等に不安、心配等がある保護者の相談対 応、子育て支援を行う	育児相談等件 数	件	600	600	600	600	600	300	276	600	C	
			令和5年度取組の自己評価・分析	保育士や看護師が、保護者と日常会話を交わしながら、子どもの発達や育児方法などについての疑問や質問に対応した。 また、臨床心理士による育児(発達)相談により、専門的な相談にも対応した。 (R4年度は電話予約件数含む)																
			今後の事業の方向性、課題等	引き続き、臨床心理士による育児(発達)相談日を設ける。 また、10ヶ月健診等に出向き、支援センターで来所・電話での育児相談ができることの周知を行う。 (R5年度以降は電話予約件数を除外)																
			選定理由	<内容> 子育てに不安・心配のある保護者の相談に乗り、子育て支援を行う。 <評価> 活動指標に対し50%未満 <今後の方向性及び課題> 専門職を含め体制整備はできており、方向性も検討されていることから、目標達成に向け、意見又は助言を得る必要があると考えるため。																

議題	基本目標	取組内容	事業名 (担当部署)	事業区分	事業概要			事業内容			活動指標					活動実績			A～D	
					実施時期	実施主体	対象者	どのような方法で	何を	どうする	項目	単位	R3見込	R4目標	R5目標	R6目標	R7目標	R4 (実績)		R5 (実績)
エ	3 互いに支え合う体制づくり	2 相談できる体制の整備	地域生活支援事業 【相談支援事業】 (高齢障がい課 障がい者支援係)	国・県補助	通年	田川市 高齢障がい課	障がい者(児) 保護者又は 介護者	田川地区障がい者基幹相談支援センターを活 用し、相談内容に応じた、適切な情報提供と権 利擁護の支援を実施して、障害者等が自立した 日常生活又は社会生活を営むことができるよ う支援を行う	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
			令和5年度取組の自己評価・分析	障がい者等が日常生活の困りごとやサービス等の利用について、相談体制ができているものの、認知度が低い。																
			今後の事業の方向性、課題等	障がい種別に関わらず、田川地区8市町村で設置した「田川地区障がい者基幹相談支援センター」で引き続き相談対応を行い、体制の強化を図る。																
			選定理由	<内容> 障がい者の自立支援のため、相談対応を行う。 <活動指標・実績> なし <自己評価及び課題> B評価に至った経緯、認知度が低いという課題、そして体制を強化するという今後の課題について詳細に説明したうえで、意見又は助言を得る必要があると考えるため。																